

I 校 訓 「自立・協同・敬愛」

II 学校教育目標

ふるさとを誇りに、夢や目標に向かい、自らを高める奥佐津っ子の育成

めざす児童像

- 主体的に学び、仲間とともに高め合う子
- 豊かな心を持ち、自他を大切にする子
- たくましい心と体で、最後までやりぬく子

おおきな声で あいさつ・へんじ ◀ふうしよう 自分で考え 仲間と伝え合い
 さいごまで あきらめず つづけよう!

めざす学校像

- 元気なあいさつが響き合い、
人権文化の高い学校
- 家庭・地域に開かれ、協働する学校
- 安全・安心な学校

めざす教師像

- 教育への熱い願いをもち、
子どもとともに学ぶ教師
- 人権感覚を磨き、指導力の向上に努める教師
- 危機意識の強い教師

III 学校教育の視点

本校は、令和5年度末をもって、創立から149年の歴史を閉じることとなった。奥佐津小学校最後の1年となる本年度のテーマを「共創」とする。校訓に基づく確かな教育の営みを受けながら、非認知能力も含めた新たな集団でも生かすことのできる力を育てていく。学校教育において、子どもと教師、保護者・家庭、地域、様々な人と共に手を携え、「奥佐津ならではの教育」を創造し、「未来を切り拓く力」の育成に努める。

そのため、小規模校の強みを生かして進めてきた「個別最適な学び」と複式授業の中で培ってきた「協働的な学び」の一体的な充実を図っていく。さらに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」を見守り一人一人の中に根づかせていく。あわせて、学校間スーパー連携チャレンジプラン・学校再編に伴う事前交流の充実により、教育効果を高める。

私たち教職員は、強い情熱使命感を持って、創意工夫と活力に富んだ教育活動を展開し、子どもたちはもちろん保護者・地域住民から寄せられる期待や信頼に応える責務がある。確かな指導力と資質能力の向上に努めながら、一人一人の子どもよき可能性を伸ばし、夢や目標の実現を支援し、全教職員の参画と協働による充実した学校運営を推進する。

〈学校づくり 5つの視点〉

- ① 子どもが主体的に学び、高め合い、笑顔があふれる学校づくりに努める。
- ② 学校再編に向け、子どもたちにコミュニケーション力・協調性等、新たな集団でも生かすことができる力を育成する。
- ③ 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、連携し、開かれた学校づくりを行う。
- ④ 地域の人や豊かな自然・文化・歴史等恵まれた教育環境・資源を活かし、学校づくりを推進する。
- ⑤ 働き方改革を意識し、「チーム奥佐津」として教職員が、保護者・地域と共に協働する学校づくりを行う。

IV 校内研修テーマ

よりよい考えや思いを創造し、深い学びに向かう児童の育成
～学び合いを通して自己の成長を実感できる授業づくり～

V 具体的な取組—「生きる力」を育む—知・徳・体の調和がとれた人間の育成

(1) 学校で学ぶ

確かな学力づくり (知)	豊かな心づくり (徳)	健やかな体づくり (体)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の確実な習得と、活用して課題を解決するために必要な力の育成に努める。 ○ 児童が見通しを持って学習し、自らの学びを実感できる振り返りを行うなど、主体的に学ぶ授業づくりを推進する。 ○ 少人数の利点を活かし、個に応じたきめ細やかな指導を推進する。 ○ 指導と評価の一体化を図る。 ○ タブレット端末、デジタル教科書等 ICT を活用した学習指導を充実させる。 ○ 読書環境を整備し、言語活動の充実を図る。 ○ 他校と連携し「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の評価・検証を行い、実効性を向上させる。 ○ 地域の教育資源を活用し、外部講師の招聘等多様な教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別の教科 道徳」の充実に向け、教科書や副読本等の活用を図ると共に、地域教材の開発、資料の共有化を進める。 ○ 体験活動を充実させ、自他の命の尊重、共生の心を育成すると共に、「とちの実学級」の理念を継承し、人権教育の充実を図る。 ○ 異年齢集団での活動を通して思いやりの心、自己有用感を醸成する。 ○ 子どもと向き合う時間の確保に努め、児童との人間関係の構築・深化を図る。 ○ 言語環境の整備、教師自身の人権感覚の研磨等に努め、人権意識の高揚を図る。 ○ 地域の災害特性を踏まえた防災教育を充実させ、危機管理意識と防災リテラシーの向上を図る。 ○ ネット依存やネットトラブル等に関する新しい情報を発信し、家庭、中学校と連携して情報モラルの指導徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育授業の充実に努め、基礎体力の向上を図り、運動好きな子どもを育てる。 ○ 休憩時間等を活用した継続的な体力づくり（おくすポタイム）を推進し、生涯スポーツに資する運動の習慣化を図る。 ○ 健康・安全の指導を徹底し、生命尊重の精神を養う。 ○ 健康教育、食に関する教育を推進し望ましい生活習慣・食習慣の確立を図る。 ○ 健康について家庭への積極的な情報発信と連携に努める。 ○ 特別支援コーディネーター・特別支援学級担任を中心に全教職員で連携し、子どもの特性に応じた指導を充実させる。

(2) 家庭で育てる

<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の習慣化をめざし、家庭訪問・学級懇談会等で情報交流し、個に応じたきめ細かな家庭学習の指導に努める。 ○ 家読・親子読書を推進する。 (兵庫県道徳副読本の活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣（挨拶、返事、手伝い等）の定着を図る。 ○ 社会規範の基礎（善悪の判断・公共心等）を継続的に指導し、身に付けさせる。 ○ 地域行事やボランティア活動等への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と睡眠時間の確保に努める。 ○ バランスの良い食事・排便の習慣化、スポーツや外遊び、集団遊びへの支援に努める。
--	--	---

(3) 地域で育む

<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人・自然・文化・歴史等を学ぶ活動を通して地域への理解・愛着を深める。 ○ オープンスクールや学校版教育環境会議等、開かれた学校づくりを推進する。 ○ 各種ボランティアの支援・協力の輪を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事、ボランティア活動等への積極的参加を推進する。 ○ 地域全体でのあいさつ運動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツクラブ21による諸活動への積極的参加を推進する。 ○ 地域のスポーツ行事への積極的参加を促す。
---	---	--